

桜町本通り商店街振興組合(豊田市) 【代表者:理事長 市古 信】

キャッチフレーズ

「下町の歴史と情緒」、「老舗商店街としての伝統と信頼」

活性化モデル商店街としてのモデル性

コミュニティ通りとして心地よい歩行空間を活かし居心地の良い場を提供しつつ、こだわりのある商品とサービスを提供し、さらに界限機能の拡充をめざす生活支援型商店街

商店街の将来ビジョン

桜町本通り商店街は、拳母神社の参道に位置する商店街で、利用者の多くが高齢者であることが特徴である。

平成17年度には、道路整備(電線類地中化工事並びにバリアフリー)に合わせ、商店街統一のファサード整備を行うとともに、拳母神社境内と桜町本通り商店街周辺で開催する毎月8日の八日市に合わせ、地産地消にこだわった朝市等を実施しているが、ファサード整備完成時の頃に商店街の通行量が増加したものの、以降は年々減少する厳しい状況にある。

この現状を打開するために、周辺で計画されている道路整備事業も絶好の契機ととらえながら、これまで継続してきた八日市をベースとして、地域の小中学校の体験学習の場としたり、商店主の趣味や技術を活かした教室の展開等地域性のある事業やちんどん屋のねり歩き等話題性のある内容を盛り込んだ取組を行う。

- 1 商店街の通りを散策できる仕組みづくり
- 2 話題性や、メリハリのあるイベントの実施
- 3 店主の高齢化、空き店舗対策への取組

具体的に取組む事業内容

八日朝市 (20年度～22年度)

拳母神社境内の八日市に合わせ、朝市を開催する。イベントやふるまいの充実を図り、集客増を目指す。

商店街花飾り事業 (20年度～22年度)

フラワーポットの設置、街路灯に四季ごとにバナーを取り付け季節感を演出する。また、ベンチ等を置きくつろぎスペースをつくる。

地域コミュニティー形成事業(20年度～22年度)

地域住民を対象に商店主の趣味等を活かした文化教室を開催する(商店街取扱商品に関連した文化・趣味サークル)。

ふれ愛フェスタの開催(20年度～22年度)

毎年春に中心市街地にて開催されるふれ愛フェスタに合わせ、親子で楽しめるイベントを実施する。